

# 秋空の下、中工体育祭が開催されました

中津川工業高校体育祭といえば昔ながらの体と体のぶつかり合いの競技と勇壮な応援合戦そして工夫を凝らしたパフォーマンスが名物です。9月5日（土）に恒例の中工体育祭が快晴の秋空のもと開催され、機械科、電気科、建設工学科、電子機械科の4科が東西南北の4軍に分かれ騎馬戦などの対抗戦が繰り広げられました。特に1～3年の生徒が連携して行う伝統の応援合戦では4軍の応援団席に高さ7メートル、横10メートルの巨大画が作られ、その前に生徒が陣取って踊りや迫力満点の応援歌で勇壮に自軍を応援する姿に、見学に訪れた生徒の家族や他校の生徒、地元住民のみなさんは巨大画に圧倒されるとともに4軍の応援合戦のたびに大きな拍手や声援を送っていました。



11月7日（土）に仰星祭（ぎょうせいさい）が開催されます！

# いま、私たちにできること 発展途上国の子どもにワクチンを！

坂本中学校では、生徒会の呼びかけで昨年11月から「エコキャップ回収活動」に取り組んできました。生徒会より全校生徒に、どのような取り組みで世界の子どもたちに貢献できるかを説明し、ポスターを掲示するなどして取り組みを周知し、毎週金曜日を回収日として継続し、これまでに62,115個のペットボトルキャップを回収しました。



ダンボール箱14個にペットボトルのキャップがぎっしり！



9月4日（金）に生徒会執行部3名と先生が世界の子どもたちにワクチンが届けられることを願い、市環境政策課に届けました。2学期以降は、各自治会や地域のスーパー、コンビニ等へ協力依頼を行い、回収活動を広げる計画を立てています。

※エコキャップ運動とは・・・

日常生活の中で普段に利用されているペットボトルのキャップを、一般のゴミに混ぜてしまうと、焼却処分されCO2の発生源になり、また埋め立て処分されると土壌を汚染し私たちが住む地球環境を破壊することになります。今日、地球温暖化の進行が心配されている中で、キャップを分別回収し再資源化することにより、CO2の発生抑制に寄与できると同時に、キャップの売却益で世界の子どもたちにワクチンを届け、命を救うことを目的としています。■キャップは400個で10円になります■ポリオワクチンは一人分20円■キャップ400個で一人の子どもの命が救えます



9月の「環境衛生週間」に合わせて13日に市内一斉清掃が実施されました。みなさん早朝から暑い中お疲れ様でした。16区（熊澤菊治区長）では河川、農道沿いの草刈り、ゴミ拾い、そして管理している源齋公園の草刈りを実施するとともに、公園



の駐車場に木製の柵を立てました。すべて手作業で杭の穴を掘るのに難儀しましたが、みんなで協力して周辺の景観にマッチした素晴らしい柵が完成しました。これで子どもや自動車が誤って法面に落ちることは無くなると思います。公園の安全対策、本当にありがとうございます。

# 坂本公民館高齢者「はなのき大学」秋の社会見学に行ってきました!

9月10日(木)に坂本公民館高齢者「はなのき大学」の受講生のうち62名の方が秋の社会見学に行ってきました。テーマは「坂本が生んだ郷土の芸術家「浅野祥雲」を見直そう!!」です。見学先の関ヶ原ウォーランドは天下分け目の「関ヶ原の戦い」の決戦場となった場所で約1万坪の敷地に合戦の様子をかたどった迫力満点で実物大の戦国武将のコンクリート像二百数十体が再現されています。

浅野祥雲は本名を高次郎といいました。明治24年千旦林六地蔵で生まれ、農家の三男で父親は農業の傍ら土人形を制作する職人であったそうです。父親の影響で幼いころから土人形を作ることが得意でした。その頃のお雛様はほとんどが土で作られたものが飾られていた時代で、その雛人形を作って売っていただけで、「おひなや」とか「おひな高さ」と呼ばれてました。その後名古屋に移り住み、土では大きな作品が作れないことから、コンクリートでの作品を思いついたとされる。昭和初期から40年代にかけて無数のコンクリート人形を制作し、坂本には五百羅漢に高さ約3mにおよぶ聖観音像、坂本八幡神社前に御神馬の作品などがあります。参加者は、ウォーランドの職員から関ヶ原合戦の様子、東軍、西軍諸大名の布陣、村人の様子などの説明を受け、興味深かげに聞き入っていました。また、園内の全域に設置してある祥雲のコンクリート像を見て回り、郷土にこのような素晴らしい先人がいたのかと再認識する社会見学となったようです。お疲れ様でした。



ウォーランドの像

ウォーランドの像



五百羅漢聖観音像



坂本八幡神社御神馬



瓦版平成21年10月号(回覧板です)

## さかもとマイタウン情報

編集・発行 地域のビタミン坂本公民館

### 自主防災リーダー養成講習 もう 応急手当はバッチリですね! お疲れさまでした!

8月23日(日)午前9時から坂本公民館ホールで自主防災リーダー講習が行われました。当日は各区から82名が受講されましたが、やはり坂本地区は参加人数が多いので、2班に分けて一班は心肺蘇生人形を使った人工呼吸や胸部圧迫の仕方を、もう一班は外傷の止血法、搬送法、三角巾の使用法などを交代で消防署の救急救命士らから講習を受けました。最後の四つのグループに分かれてAED(自動体外式除細動機)の操作方を学びました。

受講者のみなさんは「胸部圧迫で骨が折れないか?」「AEDはどこに設置してあるのか?」などの質問をしながら、みっちり3時間の講習を熱心に受講されました。受講されたみなさんには「普通救命講習終了証」が交付されました。もうこれで、いざという時は勇気をもって応急措置ができると思います。救急車が到着するまで手をこまねいて見ていたら救命のチャンスは失われていきます。応急手当の方法を身につけた人が増えることにより、傷病者を助けるための救命リレーが途切れることなく行われることになります。頑張ってください。

今回受講されたみなさん、そして今までに受講されたみなさんは8月30日の自主防災訓練において応急手当訓練の指導役として活躍されました。



三角巾を使った外傷の止血法



人工呼吸や胸部圧迫での心肺蘇生法



2班に分かれて講習を受けました

AEDの操作法 みなさん真剣です!